

事業別売上高構成比 (2013年)

タイヤ事業

87%



スポーツ事業

9%



産業品他事業

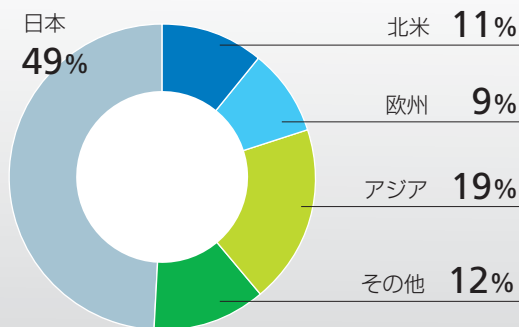
4%



地域別売上高構成比 (2013年)

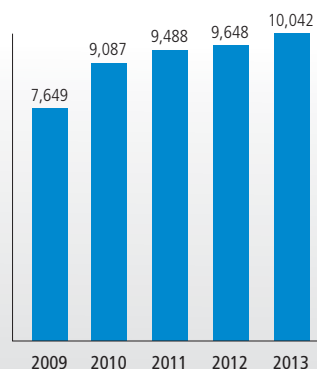
海外売上高比率

51%



タイヤ販売本数

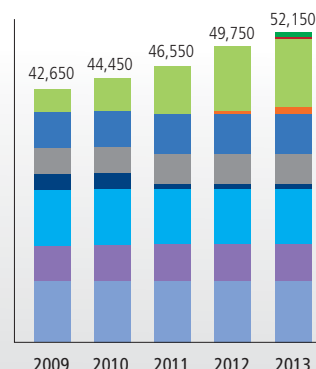
10,042 万本



2013年のタイヤ販売本数は、国内新車用タイヤを除く国内市販用・海外新車用・海外市販用タイヤが伸長し、合計では前年に比べて394万本増加しました。当社グループとして初めて年間1億本を突破しました。

タイヤ生産能力

52,150 トン/月



白河 名古屋 宮崎 泉大津
インドネシア 中国・常熟 中国・湖南
タイ ブラジル 南アフリカ

2013年は、当社グループとして中南米初のブラジル工場および南アフリカ工場が生産を開始しました。この結果、タイヤ生産能力は前期比5%増加し、海外生産比率は49%となりました。

沿革

1909	1913	1954	1963	1966	1984	1986
英国ダンロップ社の工場を誘致、日本初の近代的ゴム工場として創業。自転車用タイヤ、人力車タイヤ(ソリッド)の生産開始	自動車用タイヤの生産開始。「自動車タイヤ国産第一号」誕生	日本初のチューブレスタイヤを開発	住友の経営となる。「住友ゴム工業株式会社」に社名変更	日本初のラジアルタイヤ「SP3」の生産開始	英独仏の6工場およびタイヤ技術中央研究所を買収	米ダンロップ社を買収

住友ゴムグループは、タイヤ、スポーツ、産業品の三つの分野で事業を展開しています。

タイヤ事業では、国内の低燃費タイヤ市場で高い支持を獲得しているほか、需要拡大が期待できる新興市場を中心にグローバル展開を積極的に進めています。スポーツ事業では、優れた性能を誇るゴルフ用品やテニス用品を開発し、複数のブランドを地域や商品に応じて展開しています。産業品他事業では、成長が期待される制振ダンパーや医療用ゴム栓の拡販を図っています。

2020年を目標年度とする長期ビジョン「VISION 2020」のスローガン“Go for Next”のもと、「世界一の価値」を目指し計画を進めていきます。



目次

2	2013年ハイライト
4	社長メッセージ
8	特集 住友ゴムグループの次世代 モータリゼーションへの貢献
9	石油外天然資源タイヤ
10	低燃費タイヤ
11	スペアレス商品
12	新興市場への進出
14	営業の概況
14	タイヤ事業
16	スポーツ事業
18	産業品他事業
20	研究開発活動および知的財産戦略
22	CSR(企業の社会的責任)への取り組み
24	コーポレート・ガバナンス
27	取締役、監査役および執行役員
28	財務セクション
54	グローバルネットワーク
55	投資家情報

将来の見通しに関する注意事項

本アニュアルレポートに記載されている当社の計画、見積り、戦略、理念、業績の見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しです。これらは現在入手可能な情報に基づいた予想および期待であり、実際の業績は、さまざまなリスク・不確実な要素により、大きく異なる可能性があります。したがって、読者の皆さまにおかれましては、これらの将来の見通しに関する記述について全般的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

1999

The Goodyear Tire & Rubber Company (グッドイヤー社)とタイヤ事業におけるアライアンス締結

2003

オーツタイヤ(株)と合併

2006

住友ゴムグループ「長期ビジョン」を発表

2009

創業100周年

2012

長期ビジョン「VISION 2020」を発表

2013

世界初の100%石油外天然資源タイヤ「エナセーブ 100」発売